| | |
|---|---|
| 事例No. | 2660 |
| 公表年度 | R5 |
| 団体の属性 | その他 |
| 団体名 | 中嶋　健造 |

| | |
|---|---|
| 事例区分 | 地域活性化 |

| | |
|---|---|
| タグ | ・人材確保・育成<br>・関係人口<br>・移住定住 |

| | |
|---|---|
| 事例種類 | 人材確保・育成 |

事例内容・タイトル

中嶋　健造

出典

平成29年度ふるさとづくり大賞事例集

## 中嶋　健造　　高知県いの町

### 概　　要



中嶋氏は、全国どこでも存在する日本最大の地域資源である森林において、地域住民が自ら継続的な森林経営を行うことで収入を得る自伐型林業を推進している。自伐型林業とは、路網を整備しながら搬出間伐を繰返す多間伐施業で、小規模な山林でも展開でき、低コストとなるため参入し易いことが特徴である。さらに環境保全性と持続性も高い。参入希望者等に対し、それぞれの段階に応じた研修の実施や個別の現場指導、経営相談などを行い、専業や副業として成立・自立させることで中山間地域に定住できる仕組みづくりを進めており、現在は県内のみならず全国への普及拡大を図っている。

### 評価された点



・自伐型林業の普及のための研修や指導を通じて、中山間地域への定住促進につなげている。このモデルは各地でも応用が可能であり、お手本として評価できる。
・自伐型林業の伝道師として、全国的に普及活動を実施。女性の林業従事者を増やすなど、林業の再生に尽力されている。
・中山間地で一定の収入が得られる自伐型林業が全国的に様々な形で広がりを見せているが、ルーツをたどると中嶋氏にたどりつくケースが多い。厄介者になりかけた山を、収益が上がる山へと生まれ変わらせ、地域に生業を生み出し、日本の林業再生の道を切り拓く原動力となってきた中嶋氏の功績は顕著であり、表彰に値する。
・日本の森林率は67%であり、林業を稼げるようにすることは非常に重要な課題である。中嶋氏はその課題を解決するためのモデルを確立し、人材育成のための研修実施や情報発信など全国への普及拡大を図っている点が評価できる。
・林業復活に向けた取組として評価。期待をこめて。
・新たな林業の取組として注目されており、推進していく原動力になっている。